

ガバナー月信 Vol.10

GML

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary
第2570地区



入って良かったロータリー

4

忍城

忍城は、石田三成らによる
水攻めでも落城することがなかつた
名城で「浮き城」の別名を持ちます。
隣接の水城公園と一緒に桜の名所として
多くの方が訪れます。
忍城の白壁、囲む堀桜を楽しむ事ができます。

CONTENTS

- P 2 五十幡ガバナーメッセージ
- P 3 ~7 第1~5グループ IM報告
- P 8 RLI ラーニングセミナーパートIII開催報告 RLI担当委員会 新島修一委員長
- P 9 ~10 R財団 補助金管理セミナー開催報告 R財団委員会 ポリオプラス 安齋治一郎副委員長
- P 11 オープン例会開催 川越小江戸RC
- P 12 表彰／新会員／訃報
- P 13 会員数／今月・来月のスケジュール





2024-25年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 五十幡和彦 (行田さくらRC)

Isohata Kazuhiko

environment

4月はロータリーの7つ目の重点分野となった
「環境月間」です。

「環境」が新しい重点分野に



ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境」という新たな重点分野を追加しました。過去5年間、財団のグローバル補助金では、1800万ドル以上が環境に関連したプロジェクトに充てられてきました。環境を支援する別個の重点分野を設立することで、ロータリアンが世界中の地域社会で好ましい変化をもたらし、より大きなインパクトを生み出す一助となります。

環境は、ロータリーの7つ目の重点分野となり、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のカテゴリーとなります。そのほかのカテゴリーは、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展です。

この新たな重点分野におけるグローバル補助金を支えるため、ロータリアンやその他の方々からの寄付や誓約を今後募っていくこととなります。

(ロータリー・インターナショナルサイトより)

「環境」に関する奉仕プロジェクトの目標

ロータリーは、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援しています。

- 1 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復。
- 2 天然資源の管理と保全を支援する地域社会と地方自治体の能力向上。
- 3 生態系の健全さを改善するための農業生態学および持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援。
- 4 気候変動と気候混乱の原因への取り組み、および温室効果ガスの排出削減のための解決支援。
- 5 気候変動と気候混乱の影響を受ける生態系と地域社会の回復力の強化。
- 6 環境を守る行動を推進するための教育支援。
- 7 資源効率の高い経済を築くために、生産物の持続可能な消費および環境に配慮した副産物。
- 8 環境正義の問題と環境公衆衛生上の懸念への取り組み。

(「ロータリーの基礎」情報研究会編集より)

ロータリーの「環境月間」に合わせ、皆様のクラスで「環境問題」を話し合う機会を設けていただき、また7つの重点分野の1つとしてグローバル補助金を活用した事業をご検討いただければ幸いです。

2025年2月23日(日) in川越プリンスホテル

ガバナー補佐
坂 口 孝 (川越RC)
実行委員長
京 野 弘 一 (川越RC)

ロータリーを通じた次世代とのつながり

第1グループの都市連合会は、2月23日(日)川越プリンスホテルにて、川越ロータリークラブがホストクラブとして開催いたしました。当日は川越市長をはじめとする15名のご来賓・ご招待者、11クラブの会員、関係者を含めまして200名の方々にご出席いただきました。

第1部の式典では、各クラブの会長より1年間の活動報告を画像と共に発表いただき、ロータリー活動がもたらす楽しさや充実感、新たな挑戦や活動を通じて得た達成感、仲間と一緒に楽しかった経験など、第1グループにおけるロータリーの魅力を多角的に見つめ直すきっかけとなりました。

第2部の記念講演Iでは、今回の都市連合会のテーマである『ロータリーを通じた次世代とのつながり』の実践的な事例といたしまして、『Peace Path Project』(ピース パス プロジェクト)のこれまでの成果と今後の展望を、第2570地区の青少年プログラム委員会を通じて発表させていただきました。これはポーランドでのウクライナ避難民に向けた支援プロジェクトで、2025-2026年度に川越ロータリークラブのスポンサーのもと、ワンウェイアウトバウンドとしてポーランドへ派遣予定の高校生に、『笑顔でつなぐ未来』という演題で講演いただきました。講演の中で、高校生の時に単独でポーランドにてウクライナ避難民への支援活動を行い、後の2023-2024年度に大阪ロータリークラブからポーランドに派遣され、現在フルシャワ大学在学中の学生にZoomで繋いで出演していただき近況を聞くなど、まさに現在も繰り広げられている地区・国・世代を超えたつながりを感じることができました。第2570地区ではこのプロジェクトを2年前から継続して支援しており、川越ロータリークラブでも今年の8月にウクライナからワンウェイで留学生を受け入れる準備を進めています。

記念講演IIではお笑い芸人を講師にお迎えし、『笑いは世代を結ぶ』という演題で、世代共通で関心の高い健康について楽しみながら学びました。

第3部の懇親会でも多くのメンバーにご参加いただき、第1グループのベテランと若手が交流しながら、絆やつながりを深めることができました。

なお、この都市連合会では今回のテーマに即した試みといたしまして、第1部の司会を星野高等学校インターナショナルクラブの生徒に、第2部を東京国際大学の川越ロータリークラブの学生に、第3部を米山記念奨学生に担当いただき、立派にその大役を果たしていただきました。ご参加いただきました第1グループのメンバーの皆様、関係各位に感謝と御礼を申し上げます。





インターナショナル
ミーティング

2025年2月15日(土)
inベルセゾン

ガバナー補佐
島田 敏郎
(富士見RC)

ロータリーのバトンをつなごう ～青少年奉仕と世界平和～

暖かい晴天のもと、国際ロータリー2570地区第2グループのIMが、新座市のベルセゾンで開催されました。ご来賓としてRID2570五十幡和彦ガバナー、星野光弘富士見市長、RID2570坂本元彦パストガバナーをお招きし、富士見ロータリークラブがホストクラブを務め、約120名の参加者のもと開催することができました。

また、当日行いました募金活動では、希望の風、ポリオの根絶活動に対し、11万円を超える募金をご協力いただきました。皆様のご協力、心より感謝申し上げます。

さて、今回のIMのテーマは、「ロータリーのバトンをつなごう ～青少年奉仕と世界平和～」であり、第1部の式典、第2部の青少年セミナー、そして第3部の懇親会で構成されました。

第1部の式典は、テーマの趣旨について、ロータリーの世界平和に対する願いを世代や国境を越えて広げていきたいという思いが込められているとお伝えしました。五十幡ガバナーからは、IMの歴史と目的・役割について、星野市長からは、富士見市の国際交流について、そして坂本PGからは、楽しく学び奉仕する(ESS)のロータリーの基本についてお話がありました。

第2部の青少年セミナーは「青少年交換留学制度について」ライ杰ム事務統括の津留起夫様よりご講演をいただき、そしてローテックスの学友、ホストファミリーの経験者の方々から体験談を発表していただきました。青少年交換プログラムの意義は、ロータリークラブの支援のもと、交換留学生が海外の人たちと交流し異文化を体験することにより、国際理解を深めることにあります。そして、交換留学生たちに国境を越えた友情を育む機会を提供することで世界平和を推進することが青少年交換の最終的な目標です。ホストクラブの支援により留学生である高校生を受け入れお世話することは、多くの困難と努力が伴い、クラブ全員の協力がなければ、実行することができない事業です。このIMを契機に、各クラブにおいて積極的に青少年交換に取り組んでいただくことで、RID2570第2グループから平和のバトンがつながっていくことを願っています。

第3部の懇親会は、第2グループの各クラブの垣根を越えて情報交換が行われ、親睦交流の輪ができました。アトラクションとしてJAZZ演奏の金成朋美さんにお越しいただき、サックス演奏の中で、おいしい料理とお酒とともに楽しい交流の場を作ることができました。

ご参加の皆様、実り多いIMにしていただき、ありがとうございました。





インターナシティ
ミーティング

2025年2月18日(火)
in所沢市民文化センター
ミューズ

ガバナー補佐
倉片順司
(所沢RC)

「それでこそロータリー」 インクルーシブな未来を築くために

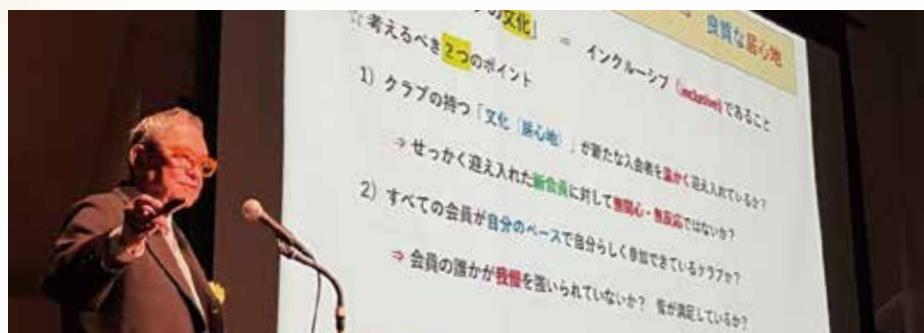
所沢市民文化センター「ミューズ」において、第3グループインターナシティミーティングが約220名の参加者の下、開催されました。

IMの目的は、ロータリー情報を学び親睦を深めることです。今回のIMは、テーマに沿って、式典、基調講演、懇親会の順で実施いたしました。

式典は、物故会員の黙祷から始まり、来賓を代表して五十幡ガバナーより挨拶を頂戴し、前ガバナー補佐への感謝状並びに次期ガバナー補佐のご紹介ご挨拶をいただきました。

基調講演では、第1部としてパリパラリンピック車椅子テニス金メダリストの田中愛美さん(所沢市在住)をお招きし、インクルーシブな社会について参加者も交えた楽しいお話をいただきました。第2部は、第2840地区パストガバナーで「ロータリークラブに入ろう」の著者である、田中久夫様に会員増強・退会防止をテーマにお話しいただきました。参加者全員が身を乗り出すほど興味深い内容で、多くの方から良い講演だったとお褒めの言葉をいただきました。

懇親会も約200名が参加され、所沢市長、柴山昌彦代議士、市來伴子代議士より挨拶をいただきました。第3グループ内会員も、地域を超えた交流が出来たことだと思います。主催者といつしましては、多くの参加者への感謝の気持ちと多くの仲間に恵まれた喜びの気持ちを再認識したIMとなったことをご報告いたします。





インターナシティ
ミーティング

2025年2月22日(土)

in 埼玉グランドホテル
深谷

ガバナー補佐
柴崎 猛
(寄居RC)



Be Challenge 不易流行

第4グループのIMを五十幡ガバナー、峯岸克明寄居町長、パストガバナー3名、同地区ガバナー補佐4名、地区役員、グループ内会員など215名の参加をいただき、盛大に開催致しました。

一部式典の後にテレビなどで大活躍されています恵俊彰様の講演をして頂きました。

恵様は今回のテーマ「Be Challenge 不易流行」のお話や自身の健康維持のお話、テレビ業界の裏話などとても興味あるお話をして頂きました。講演後質問コーナーもして頂き丁寧に質問に答えて頂きました。聴講された方からは、「よかったです!」「素晴らしい話だった!」との感想をたくさん頂きました。

三部は懇親会で加藤玄静パストガバナーの乾杯ではじまり、9クラブのクラブ紹介をして頂きました。

始めに会長が今年度の活動報告し、その後3分間のビデオで活動を紹介する方法で各クラブ特徴を活かしたクラブ紹介でした。

懇親会最後は鉄道ものまねタレントの立川真司様に40分間も盛り上げて頂き、会場は笑いの嵐でした。最後の締めは茂木正パストガバナー、次年度ホストクラブ田中英雄会長、高柳育行パストガバナーに締めをして頂き、その後全員で手にて手つないでを合唱して終了しました。



IM

インターナシティ
ミーティング

2025年2月24日(月)

in 熊谷スポーツホテル
PARK WING

ガバナー補佐
田 中 哲 夫
(熊谷RC)

笑い 語り 交流しよう

今年度のIMの目的や内容については、昨年の7月より第5グループ会長幹事会及び熊谷ロータリークラブIM実行委員会にて話し合いを進めてまいりました。その結果、第5グループとして3つの申し合わせが決まりました。

『1つ目は時間短縮』 通常午後2時ごろから始まり、7時ごろまでの実施時間を午後4時開会、午後7時終了に決定しました。

『2つ目はIMは都市連合会でもあるので地域を盛り上げるイベント』 IM実行委員会、会長・幹事会等で話し合いの結果、熊谷市、行田市、羽生市、加須市の名産物の紹介を兼ねて、何かしようということになりました。お菓子、おせんべい、食料品なども候補にあがりましたが、最終的には、それぞれの市にある酒蔵にご協力していただき、飲み比べ大会を実施することになりました。『3つ目は楽しい講演会』 五十幡ガバナーの今年度テーマである"入ってよかったですロータリー"にちなんで、みんなが楽しめる内容にしようということになり、落語の開催が決まりました。

ステファニー アーチックRI会長の掲げる『ロータリーマジック』のすばらしさと五十幡ガバナーの掲げる『入ってよかったですロータリー』はこのIMで強く実感しました。時間短縮については、度重なる実行委員会の会議にて、いかに内容の濃いものを短い時間で行うかという議論が活発に交わされました。結果として休憩時間を含み、式典・講演会・懇親会合計3時間となり、2つ目の地域を盛り上げるイベントの酒の飲み比べ大会については、それぞれの市のクラブのご協力もいただき、熊谷 権田酒造様、行田 横田酒造様、羽生 東亜酒造様、加須 釜屋様の参加を取り付けることができました。3つ目のみんなが楽しめる講演会については、お隣深谷市の出身で、深谷市親善大使でもあり熊谷市の八木橋百貨店で定期公演もされている三遊亭楽京さんの出演ということで、3つの目標を達成できたのは、ロータリーマジックのおかげと強く感じております。時間短縮のために各クラブの働きなど全てがロータリーマジックです。ロータリーでなければできないことばかりだったと強く感じつつ、感謝の気持ちでいっぱいです。

結びにIM開催にあたりお忙しい中、出席賜りました来賓各位、三遊亭楽京さん、酒蔵の皆様、準備からご支援ご協力賜りました第5グループの会長・幹事会の皆様、IM実行委員会の皆さん、各クラブメンバー各位、事務局の皆さん、ホテル関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。





ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI)パートIII開催報告

RLI担当委員会委員長
新島修一 (深谷ノースRC)

Niijima Syuichi

2 / 8
土曜日

時間・場所 9時～16時45分 国立女性教育会館(嵐山町)

内 容 ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートIII

坂本元彦RLI日本支部地区代表委員による点鐘・挨拶、茂木正地区ラーニングファシリテーター及び原島生慈ガバナー/ミニーによる挨拶を頂きロータリー・リーダーシップ研究会パートIIIが開催されました。

約36名の参加者と13名のファシリテーター(FT)が、パートIII「私のロータリーの旅」をテーマに、次の6つのセッションについて6時間にわたりディスカッションを行いました。

1. ロータリーの機会

2. 効果的なリーダーシップ戦略

3. ロータリー財団III:国際奉仕

4. 公共イメージ

5. 規定審議会・決議審議会

6. 变化をもたらす

参加者は、5～6名のクラスに分かれ、2名のFTの下、各セッションで「国際ロータリーの常設プログラムについて」「ロータリーにおける指導力と協力関係の形成について」「国際奉仕プロジェクトの目的とは」「公共イメージのイメージアップ戦略について」「規定審議会・決議審議会でロータリーの何を変えるか」「RLIパートI～パートIIIに参加して自身にどのような変化を感じたか」等を、自由にディスカッションしました。

6時間終了後、相原茂吉RLI日本支部地区ファシリテーターから講評を頂き、参加者から「RLIに参加して良い仲間ができた」「変化せず現状にとどまることは衰退を意味する。」との発言があったこと等が紹介され、午後4時45分閉会しました。

3回にわたる長いカリキュラムを終了した参加者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様は、それぞれのクラスで、今後、質の高いリーダーシップを發揮されることと思います。

3月15日(土曜)には、「ファシリテーター養成セミナー」が開催されます。引き続きFTとなってロータリーの旅を楽しんで頂きたいと思います。





補助金管理セミナー 開催報告

ロータリー財団委員会 ポリオプラス副委員長
安齋治一郎 (寄居RC)

3 / 1
土曜日

Anzai Jichiro

時間・場所 13時～16時30分 国立女性教育会館



43クラブ代表、ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・補佐3名および地区ロータリー財団関係者等、参加者は合計88名で、白幡英悟資金管理委員会副委員長(入間)の司会のもと、五十幡和彦ガバナーの開会挨拶から始まり、補助金管理セミナーが開催されました。その後坂口孝ガバナーエレクトの挨拶のあと茂木聰ロータリー財団統轄委員長から主旨説明があり寄付認証バナー及び感謝状贈呈、ポリオプラスソサエティ登録証及びピンバッヂ贈呈が行われました。



第2570地区年次寄付への1人あたりの寄付額

1位 東松山RC

上位3クラブ 2位 新座こぶしRC

3位 朝霞RC



Every Rotarian Every Year 100%

ロータリー財団寄付クラブ

東松山RC/新座こぶしRC/朝霞RC

行田さくらRC/日高RC/東松山むさしRC

川越中央RC/熊谷RC/越生・毛呂RC

坂戸RC/所沢東RC/寄居RC



1500米ドル以上ポリオ根絶活動に
寄付したクラブ

秩父RC/深谷RC/行田RC/行田さくらRC
飯能RC/羽生RC/東松山RC/本庄RC
川越RC/熊谷RC/所沢RC



ポリオプラス
ソサエティメンバー

五十幡和彦/原嶋生慈/茂木聰/田村隆
福山健朗/中嶋理恵子/安齋治一郎/柴崎重雄
(敬称略)

財団委員会別説明



資金推進委員会 荒木和之委員長

- 2025-2026寄付のお願い
- シェアシステムの説明
- WF/DDFの使途について
- 各年度の寄付の実績
- グループ別の寄付状況



グローバル補助金奨学候補生 宍戸真生さん

- 今までの生立ち・経験について
- なぜ今回グローバル補助金に申し込みしたのか
- 今後将来の夢について



補助金委員会 小林肇委員長

- 地区補助金の今後の流れ
- 地区補助金の注意事項
- 7つの重点分野について
- グローバル補助金について



グローバル補助金奨学候補生 中村悦子さん

- 今までの生立ち・経験について
- なぜ今回グローバル補助金に申し込みしたのか
- 今後将来の夢について



財団資金管理委員会 大崎光二委員長

- 地区補助金報告期限
- クラブの資格認定について
- 地区補助金報告書提出にあたっての留意点
- 補助金管理上の不備内容



ポリオプラス委員会 中嶋理恵子委員長

- ポリオの今現在の状況について
- ポリオワクチンの接種・投与について
- ボイリプラス補助金について
- ポリオプラスソサエティ参加のお願い



奨学学友・ 平和フェロー委員会 江崎浩史委員長

- ロータリー平和センターの世界各地の場所
- 平和フェローシップのシステムの説明
- 平和フェローシップのシステムの最新情報
- 平和フェローシップの仕方について説明



ロータリー財団委員会 茂木聰統轄委員長

- 質疑応答

最後にいくつかの質疑応答があり、茂木統轄委員長が答えました。五十幡和彦ガバナーより講評を頂き3時間半にわたった補助金管理セミナーは無事に終了いたしました。今回43クラブの方がこの補助金セミナーに参加して頂きましたが、全クラブが地区補助金に申し込んでいただけるよう茂木統轄委員長含め財団委員会からお願い申し上げます。長時間にわたりありがとうございました。

ロータリー財団の使命

「ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」

Open オープン例会 金子由佳様 卓話『ガザ地区の現状について』

会長 大谷龍之 (川越小江戸RC)

Otani Tatsuyuki

2/6
木曜日

時間・場所 12時30分～川越プリンスホテル

内 容 第2378回 オープン例会(卓話例会)

川越小江戸RCとして50年の歴史の中で初の試み、価値ある卓話者を招聘してのオープン例会を開催しました。

五十幡和彦ガバナー、加藤玄静
パストガバナー、水村雅啓パスト
ガバナー、高丹秀篤パストガバ
ナー、原島生慈ガバナー/ミニー、
第2770地区財団奨学・平和フェ
ロー水野正男様(上尾西RC)をお
迎えし、第1グループをはじめ多
くの地区役員、地区内ロータリア
ン、国際ソロブチミストの会員等
50名を超えるゲストの皆様に参加していただきました。

軍事衝突による被害が続くパレスチナ・ガザ地区では、多くの子どもと家族が安全を求めて避難施設に身を寄せています。砲撃により各地でライフラインが破壊され、食料や安全な飲み水、医薬品などが不足する中、命をつなぐための緊急人道支援が急務となっています。2015年から現地で支援を行なっている金子さんに卓話をしていただき、実際の詳しい現状、ロータリーとの繋がり、グローバル補助金、政府への懇願、今私達が何ができるか?等多岐に亘り学ばせていただきました。

多くのお客様、会員がガザ地区支援募金に協力してくださいました。ニコニコボックスのご厚志と合わせた全額を金子由佳さんを通して寄付させていただきました。

ご協力ありがとうございました。



金子由佳様

2011年ロータリー平和フェロー
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン イエメン及び
ガザの開発、緊急支援担当



表 彰

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 1回



熊谷

田野 隆広

米山功労者マルチフル 3回



飯能

新井 景三



寄居

石井 彩子

2025/1/8入会

日本生命相互会社 東松山営業部 店長補佐
紹介者 津久井大雄・福島 徹



川越小江戸

西澤 裕美

2025/2/1入会

税理士法人 西澤会計 代表社員 税理士
紹介者 金子貞男



行田さくら

高橋 正俊

2025/2/4入会

(株)さきたま仕事と介護の両立 代表取締役
紹介者 五十幡和彦・高橋貴子



行 田

宇田 栄治

2025/2/13入会

(株)コスメグローバル 代表取締役
紹介者 大谷純一・清水龍男



坂 戸

眞仁田 太洋

2025/2/13入会

マニタ本店(MANITA) 代表取締役
紹介者 菅野雄介



坂 戸

小峯 哲也

2025/3/6入会

(株)ホームクリア 代表取締役
紹介者 菅野雄介



所 沢

天野 秀樹

2025/3/4入会

(株)フォーシーズ 専務取締役
紹介者 市川雅巳・見澤英一



入 間

伊藤 達也

2025/3/6入会

飯能信用金庫入間支店 支店長
紹介者 水村 雅啓

訃報

心よりご冥福を
お祈り申し上げます

行田さくらRC
パスト会長

清水 孝男

享年99歳

逝去 2025年 2月 9日

入会 1970年11月 5日

在籍54年

訃報

心よりご冥福を
お祈り申し上げます

寄居RC
名誉会員

荻野 旺

享年88歳

逝去 2025年 1月 16日

入会 1969年 6月 25日

在籍56年

会員数(人)						
クラブ名	2024年 度初め	2025 2月末	対 年初 増 減	女性会員	My Rotary 登録率(%)	
第1グループ	川越	99	101	2	6	44
	東松山	23	24	1	2	46
	小川	5	5	0	1	0
	坂戸	28	30	2	1	30
	越生毛呂	8	7	-1	1	1
	川越小江戸	15	17	2	2	41
	川越西	26	31	5	4	52
	鶴ヶ島	29	31	2	2	58
	川越中央	21	22	1	1	23
	坂戸さつき	19	19	0	3	53
第2グループ	東松山むさし	37	35	-2	3	37
	合計(11RC)	310	322	12	26	avg. 35
	朝霞	23	22	-1	2	50
	志木	48	51	3	4	47
	富士見	35	39	4	0	57
	新座	25	25	0	3	18
	和光	4	4	0	1	75
	新座こぶし	11	11	0	3	55
	合計(6RC)	146	152	6	13	avg. 50
	入間	38	38	0	1	47
第3グループ	所沢	63	69	6	6	32
	飯能	64	67	3	1	17
	新所沢	19	20	1	2	42
	日高	19	21	2	4	35
	所沢西	39	38	-1	4	29
	新狭山	14	14	0	0	86
	所沢東	46	46	0	1	30
	入間南	37	38	1	0	55
	狭山中央	20	19	-1	5	35
	合計(10RC)	359	370	11	24	avg. 41
第4グループ	深谷	54	56	2	13	43
	本庄	89	102	13	12	36
	秩父	51	54	3	1	50
	寄居	35	38	3	1	13
	児玉	2	2	0	0	0
	岡部	17	19	2	2	70
	深谷東	74	73	-1	0	37
	皆野・長瀬	7	8	1	0	25
	深谷ノース	25	28	3	2	48
	合計(9RC)	354	380	26	31	avg. 36
第5グループ	熊谷	98	98	0	4	51
	行田	54	54	0	5	13
	羽生	38	38	0	2	13
	加須	21	24	3	1	9
	熊谷西	7	7	0	0	29
	行田さくら	50	52	2	3	75
	熊谷東	17	16	-1	0	13
	吹上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	30	29	-1	0	43
	熊谷南	27	30	3	2	43
合計(10RC)		347	353	6	17	avg. 37
合計	クラブ数	年度初め	2月末	増減	女性会員	My Rotary登録率
46	1,534	1,577	61	111	37	

(注)第3G 所沢中央RCの活動終了に伴い年度初め数と表計算に誤差が生じております

SCHEDULE 主な活動スケジュール

4月

- 5日(土) 飯能西RC60周年
 12日(土) 財団 第4回オリエンテーション
 13日(日) 米山記念奨学生オリエンテーション
 13日(日) 青少年交換オリエンテーション
 17日(木) >クラブ活性化セミナー
 18日(金) 地区研修・協議会
 20日(木) 地区研修・協議会

5月

- 4日(日) 姉妹地区地区大会(3502地区)
 10日(土) 財団第1次選考試験
 11日(日) RYLA研究会広島大会
 12日(月) 財団第1次合格発表
 17日(土) 財団第2次選考試験、選考会議
 18日(日) 財団第2次合格発表
 24日(土) ロータリーの森清掃活動
 25日(日) 所沢西RC40周年
 31日(土) 東松山むさしRC30周年

ガバナー月信 4月号
2024-2025年度 vol.10

月信についてのお問合せ

ガバナー月信編集委員会 委員長 川野健人
 kawano.kento@drive.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内
 TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571
 E-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp <https://www.rid2570.gr.jp/>